金沢大学附属病院泌尿器科で

腎癌手術を行った患者さんへ

腎癌手術病理の研究について

腎臓に癌ができた場合、根治を目指して片方の腎臓を摘除する手術がよく行われてきましたが、腎機能を少しでも温存したほうが、その後の寿命を長くできる、との報告が相次いでいます。また、実際に腎部分切除ができるような小さい腎癌の場合、腎摘出を行った場合と腎部分切除を行った場合の癌の転移および再発の率は同等、と報告されています。ただし，その癌の顕微鏡検査に基づく妥当性の根拠についてはこれまで報告が少なく，詳しくわかっていませんでした。こうした疑問に答えるために，2011年5月から2016年８月までに当院で得られた検査・治療の結果を調べる研究を予定しております。

この研究ではこれまでに行われた検査や治療内容のデータを使いますので，患者さんの負担はありませんし，今後の治療方針にも影響しません。また費用の負担もありません。

なお，この研究は，金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け，金沢大学附属病院長の承認を得て行っているものです。

2011年5月から2016年８月までに当院泌尿器科で腎癌手術を受けられた患者さんで，この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら，そのことをお申し出ください。その場合，あなたのデータは使いませんし，またこれからの治療に差し支えることは全くありません。また，ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても，お調べしお答えいたします。

1．今回の研究について

研究課題名：小径腎癌手術適応の妥当性に関する病理学的検討

この研究では腎癌患者さんの中で，手術で摘出した顕微鏡検査のデータを元に，この病気における手術適応の妥当性に関して、顕微鏡的検査による根拠を調べることを目的としています。

２．研究の方法について

この研究では，2011年5月から2016年8月までに当院泌尿器科で腎癌手術を受けた患者さんについて，手術で摘出した標本の顕微鏡検査結果とカルテに記載してある画像等のデータを使います。そのときに患者さんのお名前などの個人情報を削除します。この後，必要なデータをまとめ，小径腎癌手術の顕微鏡検査による妥当性の根拠についての研究を行います。集めたデータは学会や論文などに発表される事がありますが，個人情報が公表されることはありません。

この研究の期間は，金沢大学医学倫理委員会の承認日から2018年3月31日までです。

３．予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり，この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては，外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

４．プライバシーの保護について

この研究では，患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は，データとは別に取り扱います。

また，この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

５．研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

６．研究への不参加の自由について

もし，この研究への参加をお断りになっても，あなたの今後の治療に差し支えることは一切ありません。不参加を希望される場合には，お手数ですが下記の研究責任者，研究分担者，もしくは担当医にお知らせください。研究への不参加を希望される場合は2016年12月31日までに下記 研究の窓口までお知らせください。

７．個人情報の開示について

金沢大学における個人情報の開示の手続については，次のホームページを参照してください。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\_syomu/kojin-jyouho/

８．研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい，またはごらんになりたい場合は，研究に関する窓口に問い合わせてくだされば，対応いたします。

９．研究に関する窓口

この研究の内容について，わからない言葉や，疑問，質問，自分がこの対象の対象になるかなど，更に詳細な情報をお知りになりたいときには，遠慮せずにいつでもお尋ねください。

　研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系【研究機関は，責任者の所属名とする】

研究責任者：角野　佳史（金沢大学附属病院泌尿器科）

　問合せ窓口：角野　佳史（金沢大学附属病院泌尿器科）

電話：076-265-2393